

Scoop

2001年12月

ラパン

スズキ

東京モーターショー出品モデルから一転
アクティブなマスクで登場だ

[zoom](#)

1月号掲載の市販予想図にさらなる新情報を盛り込み、アップデートさせた。ラジエターグリルにはメッキルーバーが、ドアミラーは丸形ではないことが新たに判明した。

[zoom](#)

コラムシフトやメーター右横に置かれたアナログ時計が目新しいものの、インパネ全体はオーソドックスに仕上がる。パーキングブレーキレバーはフロア置きだ。

東京モーターショーに参考出品された「Lapin（ラパン）」が02年1月にデビューする。ファンシーな雰囲気コンセプト版とはイメージが異なり、フロントはメッキ仕上げの横ルーバーグリルや丸型フォグでアクティブなイメージを演出。バンパーもボディ同色に塗装される。コンセプト版のようなポップなカラーバリエーションに期待したい。

一方、リアデザインはウインドウ下のノッチ部分にコンビランプが組み込まれる。やや大きめの「Lapin」エンブレムは当初、ガラス部分に装着されるとの情報もあったが、ウインドウ下のハッチゲート部分になることも確認できた。また、ドアミラーはアルトと同じ形状だが、メッキ仕上げとなる。

コンセプト版のインテリアはかなり大胆だったが、量販モデルではオーソドックスに仕上がる。残念ながらベンチシートの採用も見送られる。コラムシフトは踏襲されるが、パーキングブレーキレバーは前席の間に置かれ、使い勝手を重視。メーターパネルから独立したアナログ時計がステアリングコラム右側に設置されるほか、空調吹き出し口にも丸型デザインが採用される。

ボディサイズはコンセプト版をほぼ踏襲し、軽自動車枠をフルに生かした3395mm×1475mm×1500mmとなる。MRワゴンとシャシーを共用するため、ホイールベース（2360mm）も同じだ。中低速トルクに重点を置いたK6A型「Mターボ」エンジンもMRワゴンに続いて搭載されるだろう。



[zoom](#)

エスクード 予想発売時期02年6月 一部改良
ロングホイールベースと3列シートで快適キャビンを売りにしているストレッチ版、グランド・エスクードに新開発の3リットルエンジンが搭載されることが判明した。現行モデルはH27A型2.7リットルV6エンジンを起用しているが、開発中のエンジンはこれをベースにしたH30A型で、最高出力と最大トルクがわずかながら増大。中低速トルクが太くなることで街中でも扱いやすく、燃費も改善されるかもしれない。また、限定車としてリリースされた2列シート5人乗りモデルの追加や、ショートホイールベース仕様の商品改良も同時に行われる見通しだ。東京モーターショーに現れた山本寛斎プロデュースの特別仕様車は早ければ02年はじめにも発売される可能性あり。

[戻る](#)





